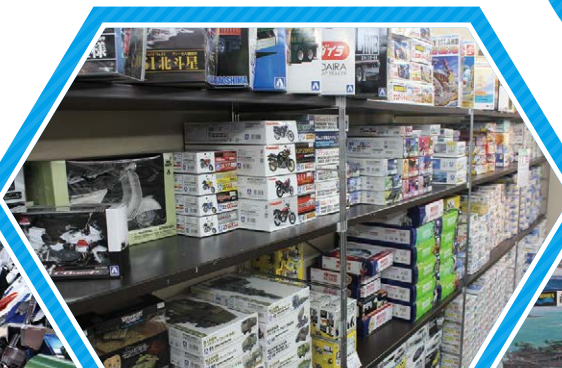


静岡市と模型について

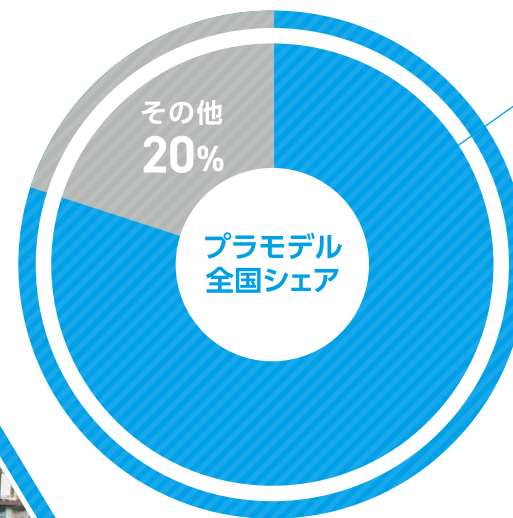
模型の世界首都・静岡
Shizuoka City, the Plastic Model Capital of the World

静岡市はプラモデルの
出荷額が全国No.1!
※
シェアは80%を占めています。

静岡市から国内外に優れた
模型製品が送り出されています。



©創通・サンライズ



静岡市80%

その圧倒的なシェアと長い歴史から、静岡はプラモデルの聖地として模型ファンに愛され続けています。特に、静岡市には模型メーカーが集積していることから「模型の世界首都・静岡」として、国内外へその魅力を発信しています。

※出典：経済産業省「2023年経済構造実態調査」をもとに算出しています。



静岡市と模型の歴史

豊富な森林資源を持つ静岡市は、かつてから木工業が盛んでした。プラモデルの歴史は、木製模型の時代まで遡ります。静岡市初の飛行機乗りとなった青嶋次郎氏は、1924年に青島飛行機研究所（現青島文化教材社の前身）を設立します。1932年から木製模型飛行機の製造販売を開始し、これが木製模型の原点、そして「模型の世界首都・静岡」の第一歩となりました。



青嶋次郎氏

1924



駿河竹千筋細工

静岡の
伝統工芸



駿河蒔絵

1932～



初期の木製模型飛行機

1950～



初期のプラモデル



タミヤ初のプラモデル 1/800 大和(昭和35年)

そんな激動の時代を、情熱、知識、努力の全てをかけて乗り切り、現在のプラスチックモデルメーカーが誕生しました。だからこそ、世界中から愛される商品を市場に供給し続けることができるのです。



©MODERHYTHM/Kazushi Kobayashi

